

【記入例】 添付様式3-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

添付様式3-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考) 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値 (エ)	達成度	達成見込みの有無		達成見込みの根拠		
			計画年度	基準年度	計画年度	基準年度	計画年度	基準年度			あり	なし			
指標1	観光入込客数	人/年	従前値と同様の方法で平成21年度の観光入込客数(公共交通機関利用者数等)を把握し、過去の傾向(平成18~20年度)とあわせて評価値を推計	52,000	H11	55,000	H16	66,000	H22	モニタリング	58,300	モニタリング	△	●	-
										事後評価	59,400	事後評価	△		
										フォローアップ		フォローアップ			
指標2	居住人口	人	平成22年5月の住民基本台帳の月別データと過去の傾向から当該地区の居住人口を把握し、評価基準日の評価値を推計	850	H11	800	H16	1,000	H22	モニタリング	898	モニタリング	△	●	近く、周辺地域で住宅団地の分譲開始が見込まれていること
										事後評価	922	事後評価	△		
										フォローアップ		フォローアップ			
指標3	■館来館者数	人/年	平成22年4月~6月に、対象期間中の入館者数を計測し、そのまま評価値とする	318	H11	315	H16	500	H22	モニタリング	455	モニタリング	△	-	-
										事後評価	620	事後評価	○		
										フォローアップ		フォローアップ			
指標4	地域コミュニティ形成	団体数	平成22年6月1日時点で、NPO実施調査データから、地区内の市民活動団体数等を算出し、過去の傾向(平成18~20年度)とあわせて評価値を推計	-	H11	1	H16	3	H22	モニタリング	1	モニタリング	×	-	-
										事後評価	3	事後評価	○		
										フォローアップ		フォローアップ			

① 指標……………「方法書(1)-1)都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況」に記入したすべての指標と単位を転記する。

② データの計測方法と評価値の求め方

……………「方法書(1)-1)都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況」に基づき、「時期」、「場所」、「実施主体」、「対象」、「具体手法」等を記入する。なお、評価値の考え方は、「方法書作成の手引き」P.5を参照のこと。

③ (参考) 計画以前の値 (ア)

…都市再生整備計画の作成より以前(概ね5年程度前)の値と、その年度を記入する。(ただし、データがない場合、もしくは入手が困難な場合は、記入しないことも可とする。)

④ 従前値 (イ) …事前評価時に測定した値と、その年度を記入する。

⑤ 目標値 (ウ) …事前評価時に設定した目標値と、その年度を記入する。

⑥ 数値 (エ)

1) モニタリング…モニタリング時に計測した値を記入する。

2) 事後評価…上記②で記入した求め方による評価値と、確定/見込みの別を記入する。

3) フォローアップ…事後評価時に見込みの値を使用した場合に、フォローアップ時の確定した値(確定値)を記入する。

⑦ 達成度……………「モニタリング」、「事後評価」、「フォローアップ」のそれぞれの達成度を記入する。

達成度の評価基準	
評価の基準	達成度
①評価値が目標値を上回った場合	○
②評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合	△
③評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合	×

⑧ 達成見込みの有無…達成状況进行评估し、下記の基準に基づく評価結果を●で記入する。

種別	評価の基準	達成見込みの有無
達成	数値目標を達成している(評価値が目標値を上回った)場合	●印の記入は不要
達成見込み	現時点で数値目標を達成していない(達成度が△もしくは×)が、その要因が外部要因によるものが大きいことが合理的かつ客観的に確認され、1~2年以内に所要の目標が達成される見込みがある場合	「あり」に●印を記入
未達成	上記以外	「なし」に●印を記入

⑨ 達成見込みの根拠…見込み「あり」に●を付けた場合は、その根拠を具体的に記入する。